



左《馬込の月》東京二十景 1930(昭和5)年 右上《西伊豆木負》 1937(昭和12)年6月
右下《芝増上寺》東京二十景 1925(大正14)年 すべて渡邊木版美術画舗蔵

2023年
9月2日(土)・10月1日(日)

石川県立美術館 石川県金沢市出羽町2-1
Tel.076-231-7580

9時30分～18時 入場は閉場の30分前まで

会期中
無休

主催：北陸中日新聞、石川テレビ放送、石川県立美術館
後援：石川県、金沢市、金沢市教育委員会、NHK金沢放送局、エフエム石川
特別協賛：アルスコンサルタンツ、東海東京証券 特別協力：渡邊木版美術画舗
資料提供：大田区立郷土博物館 企画協力：ステップ・イースト

旅と郷愁の風景

川瀬 水巴

ARS アルスコンサルタンツ株式会社 東海東京証券

KAWASE HASUI
Travel and nostalgic landscape

旅情詩人と呼ばれた木版画家、川瀬巴水

大正から昭和にかけて活躍した木版画家・川瀬巴水(1883～1957〔明治16～昭和32〕年)。近代化の波が押し寄せ、街や風景がめまぐるしく変貌していく時代に、巴水は日本の原風景を求めて全国を旅し、庶民の生活が息づく四季折々の風景を描きました。

巴水とともに木版画制作の道を歩んだのが、新時代の木版画「新版画」を推進した版元の渡邊庄三郎(現・渡邊木版美術画舗初代)や彫師、摺師といった職人たちです。四者は一体となって協業し、伝統技術を継承しながらもより高度な技術の活用を求めました。そして新たな色彩や表現に挑み続け、「新版画」を牽引する存在として人気を博します。

本展では、季節や天候、時の移ろいを豊かに表現し「旅情詩人」とも呼ばれた川瀬巴水の画家としての生涯を、初期から晩年までの代表的な作品とともに紹介します。まとめて観る機会の少ない連作(シリーズ)も含め約180点を展示し、叙情的な巴水の世界へと誘います。



《金澤下本多町》旅みやげ第二集 1921(大正10)年9月2日



川瀬巴水 1939(昭和14)年7月
大田区立郷土博物館蔵

解説

「新版画」とは？

大正から昭和にかけて興隆した多色摺木版画です。新しい時代の木版画芸術を目指して、版元を中心に浮世絵版画の伝統技術である絵師、彫師、摺師の共同作業で制作されました。

巴水、金澤下本多町を描く

巴水は1920(大正9)年秋などに北陸を幾度も旅しました。武家屋敷や浅野川の風景は、巴水の目にどのように映ったのでしょうか。会場では、巴水が描いた北陸三県の作品も展示します。

スティーブ・ジョブズも魅了した巴水

アップル・コンピュータの共同創業者スティーブ・ジョブズは、日本の新版画を愛し、特に川瀬巴水はお気に入りの作家でした。表面右上の《西伊豆木負》はジョブズが購入した中にもあった作品です。



《日本橋(夜明)》東海道風景選集 1940(昭和15)年



《十和田子之口》日本風景集 東日本篇 1933(昭和8)年7月



《平泉金色堂》1957(昭和32)年〔絶筆〕
※作品図版はすべて渡邊木版美術画舗蔵

観覧料

一般1,200(1,000)円 高校・大学生900(700)円 小・中学生600(400)円

※()内は前売りおよび20名以上の団体料金 ※未就学児は無料
※身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者福祉手帳、マイリロIDをご提示の場合は、ご本人様は前売り料金、そのお付き添い1名様は無料でご入場いただけます。
※各種割引は重複してご利用いただくことはできません。ご了承ください。

チケット取り扱い場所

チケットぴあ(Pコード:686-396)、セブンチケット、イープラス、ローソンチケット(Lコード:41810)、Boo-Wooチケット、★北陸中日新聞販売店、★金沢中日文化センター(金沢エムザ2F)、★中日サービスセンター(中日新聞北陸本社1F)、★石川県立音楽堂チケットボックス、★香林坊大和プレイガイド、★アピタ松任ティオ、★うつのみや各店、など(★は前売券のみ)

展覧会コラボスイーツ販売予定



川瀬巴水の作品世界をイメージしたコラボスイーツを石川県立美術館内「ル ミュゼ ドゥ アッシュ KANAZAWA」で販売予定!!

※詳細は決まり次第、本展公式ホームページにてお知らせします。

石川県立美術館

〒920-0963 石川県金沢市出羽町2-1 Tel.076-231-7580
<https://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/>

バス JR金沢駅兼六園(東口)から、路線バスで「広坂・21世紀美術館(石浦神社前)」または「出羽町」下車、徒歩約5～10分
※最新の運行状況は、北陸鉄道ホームページなどでご確認ください。

タクシー JR金沢駅兼六園(東口)から約4km、平常時で約10～15分
自家用車 北陸自動車道「金沢西」または「金沢森本」ICからそれぞれ約20～30分

お問い合わせ

北陸中日新聞事業部
Tel.076-233-4642 (平日10時～17時)

Twitter: @hokuchu_jigyō

石川テレビ放送企画事業部
Tel.076-267-6483 (平日10時～17時)

HPはこちら

